

国際ロータリー第2520地区 Rotary International District 2520

大河原ロータリークラブ会報

例会日:毎週木曜日 12時30分 会 長:藤江裕佳里 広報・ICO

例会場:和洋亭 ぶざん 副会長:甘糟 仁 委員長:佐藤能文

柴田郡大河原町字新南25-18 幹事:佐々木由美子 副委員長:岡崎 隆 2019-20年度 ガバナー

T E L 0224-51-1113

副幹事:武者 昌洋 委 員:庄司 大

鈴木 賢

事務所:〒989-1245 大河原町字新南25-18 TEL0224-86-5901 FAX0224-86-5905 info@rotary-ogawara.com

2019年10月17日(木)第2527回 例会

会長あいさつ

会 長 藤江 裕佳里

クラブ創立 1968年2月12日

ROTARY CONNECTS THE WORLD

マーク・ダニエル・マローニー

2019-20年度 R I 会長

2019~20年度 国際ロータリーテーマ

ロータリーは

世界をつなぐ

NO.1



こんにちは。本日は台風19号で亡くなられた方のご冥福を祈り、 被災された方々の1日も早い復旧を願いたいと思います。先週は秋晴 れの良い天気の中の例会で最後に台風15号への被害を受けた方々への 回復の取り組みが、まだまだできない内に、更に大きい19号が関東地方 を直撃、東北地方への接近も報道されて、皆様も十分の備えをなさって 下さいと挨拶いたしましたが、今回の19号が過ぎ去ったあとの想像 以上の被害に心が痛みます。そのような中本日は大河原町福祉課技術 主幹兼地域包括支援係長白戸佳子様をお迎えし皆様とお話を伺う機会

機会を共にできることに感謝したいと思います。私たちが生を受けた20世紀は第一次、第2次世界 世界大戦をはじめ様々な戦争の多い時代でしたが、地球はもっと静かだったと思います。21世紀に入り 2011年の東日本大震災をはじめ各地で地震や火山噴火や大規模な洪水が発生し、今まで生きてきた 中での経験だけでは対処しきれないことがたくさん起こっているのを感じます。今朝も86歳のご主人 の方が「長いこと、世話になったな」という言葉を残して奥さんの目の前で泥水の中に沈んで亡く なられたと報道されてましたが、そのような悲しいことにならないように今は様々な情報がありますので、 ので、「自分の命は自分で守る」他人事と思わず自分の事として真摯に考え、実行して下さい。 助けが必要な時は躊躇することなく助けを求めて生命を守りましょう。

大河原RCの皆始め大河原町内の方々も丸森や角田の大きな被害に隠れていますが被災されている方が たくさんおられます皆様の一日も早い日常への回復を願い今日の会長挨拶と致します。



刺身・すき焼き とんかつ・サラダ 豪華な弁当 美味しい!!



ボリューム満点 「シェアド・リーダーシップ」それぞれの力を合わせて 大河原ロータリークラブ 藤江 裕佳里 会長

幹事報告

幹事 佐々木 由美子



- ① 台風19号によりオオタムフェスティバル中止のお知らせ
- ② ロータリアン行動規範5つ追加について
- 1.個人また事業において・高潔さと高い倫理基準をもって行動する
- 2.取引の全て公正に務め、相手と職業に対し尊重の念をもって接する
- 3.自分の職業スキルを生かし若い人々を導き、特別なニーズを助け、地域 社会や世界中の人々の生活の質を高める
- 4.ロータリーや他のロータリアンの評判を落とすような言動は避ける
- 5.ロータリーの会合、行事、及び活動においてハラスメントのない環境を維持する ことを支援し、ハラスメントの疑いがあれば報告し報告した人を保護する

/ンケームBOXの報告 原田 眞 委員長 4名 33,000円

岡崎隆・庄司大・原田眞・武者昌洋

スマイルBOXの報告 武者 昌洋 副幹事 8名 23,000円

岡崎隆・武藤茂・八島幸夫・武者昌洋・甘糟仁 藤江裕佳里・小田部晃二郎・佐々木由美子

出席の報告 津田 政行 委員長 会員数35名 22名の出席 62.85%

大河原町 技術主幹兼地域包括支援係長

白戸佳子様

「健幸都市大河原の実現に向けて」

大河原ロータリークラブ



リーのテ 健幸都市 大河原

介護保険料 全国第5位 の安さ!!





一般介護予防事業の取組について

(目的)

高齢者を年齢や心身の状態等によってわけ隔てることなく住民主体の通いの場を充実させ人と人とのつながりを通じて参加者や通いの場が継続的に拡大していくような地域づくりを推進

宮城県 大河原町 福祉課 地域包括支援係(地域包括支援センター) 技術主幹兼地域包括支援係長 白戸佳子

大河原町の概要

厚労省見える化システムより

1)自然条件

・本町は宮城県南地域のほぼ中央に位置する総面積24.99kmの町で、町の中央を白石川が縦断。川を挟むようにして市街地が形成され、その周辺を農地と山林が囲んでいる。

2社会条件

・人口についてはほぼ横ばい。産業は、第 三次産業が主体

③高齢者の状況

- ・人口23,543人(高齢者人口6,345人高齢化率 27%) H31.3月末※2015年データでは 1293/1565市町村
- ·認定率; 11.4% 1559/1571市町村
- ・一人あたり給付費;14,533.5円 1566/1570
- ·介護保険料;第7期 3,900円 1566/1571

大河原町の一般介護予防事業の概要 ~PDCAサイクル?を時代に合わせ1upさせる

(ア)介護予防把握事業(毎日少しづつ行う)

- ①認定調査を地域包括支援センターの職員も行い住民の心身の状況を把握する。
- ②地域包括支援センターの職員と生活支援コーディネーターが一緒に一人暮らし、高齢者世帯への訪問を行う
- ③在宅医療介護連携の窓口を24時間開設し医師から、生活不活発のある人の紹介をしてもらう
- ④民生委員運営協議会に参加し民生委員からの情報
- ⑤地域包括センターの職員が役場の窓口で相談を受けつける

(ウ) 地域介護予防活動支援事業

(毎年数を増やしていく)

- ①介護予防に関するボランティアの育成
- →介護予防サポーター~はつらつメイト養成講座
- ②介護予防に資する地域活動支援
- →介護予防サポーターが中心のスポカフェ(ふ らっとほーむ)(はつらつクラブ)の後方支援

(工) 一般介護予防事業評価事業

(オ) 地域リハビリテーション活動支援事業

(宮城県作業療法士会・宮城県理学療法士会からの継続的な支援)

- ①住民への介護予防に関する技術的支援
- →地域包括ケアまつりで理学療法士による「ロコモ度 チェック」「ロコモ体操指導」作業療法士による「ス テンシル」などの作業療法
- →住宅改修、福祉用具導入時の現地での動線確認(理 学療法士・作業療法士・行政担当・包括)
- →家族介護教室、家族介護者交流会に作業療法士が同行し、レクレーション、歩行能力評価などを実施
- →自宅に理学療法士・のADL・IADLの評価をしてもらい実際の活動につなげる

大河原町の介護予防事業は、一般介護予防を中心に

=大河原町のつよみ(ストレングス)=

- ・大河原町は身近にクリニックがあり、体調管理、健康意識がもともと高い住民性があった。
- · H 1 8 地域包括支援センターは直営で役場の健康福祉課に置く。(すでに多職種連携協働)
- ・地域包括支援センターの職員が予防プランの全部を作成しており、保健師を中心にセンター内で健康増進・介護予防・自立支援の視点が統一 された。(プランの外部委託なし)
- 健康福祉課では宮城県の健康づくり介護予防モデル事業により、保健師による地域での保健予訪教室「ぐっと元気倶楽部」などが5地区で行れ、その後すこしずつ規模を拡大していっていた。
- ・社会福祉協議会では民生委員などを中心に「サロン」を展開していた。
- 大河原町には狭い面積に介護保険の事業所が多くあり特にデイサービスは12カ所ある。
- ·民間での運動をメインとする市場サービスがある。 (高齢者も0K)
- ・H 2 4~宮城県作業療法士会との連携により、生活行為向上マネジメント(MTDLP)の考え方を地域のケアマネジャーをはじめ介護保険 事業所全体で研修会、事例検討会を通じ共有化した。
- ・H 2 7~地域包括支援センターで介護予防サポーター養成講座を開催し、一般の住民を対象に地域での介護予防の担い手のリーダーを養成し組織化した。(
- 養成した介護予防サポーターは保健師のバックアップのもと、自主的な通いの場を運営し、「こつこの体操・ロコモ体操」を切り口に選に1回活動開始した。
- ・H28~一般介護予防普及啓免事業(介護予防普及啓発に資する運動・栄養・口腔等に係る介護予防教室)を6か所のデイサービスに個別方式というかたちで委託した。
- ・個別方式の利用者については、本人・地域包括支援センター職員・デイサービス職員とでわたしの手帳(介護予筋手帳)を作成し活用することとした。
- · H 2 9 ~第 7 期介護保険事業計画ではさらに一般介護予防事業(ア)~(オ)を充実の計画

(イ) 介護予防普及啓発事業

(住民の意見を聞きながら毎年バージョンアップさせる)

- ①介護予防のパンフレットの配布(自分らしい生き方・暮らし方を見つけましょう)
- ②介護予防に資する講演会
- →H29自分らしい"生き方""暮らし方"を考えるシンポジウム~ (県主催) ~H30介護予防フェア~2019地域包括ケアまつりin おおがわら
- ③介護予防の普及啓発に資する介護予防教室
- →個別方式による介護保険通所介護(デイサービス)の空き部分 活用(1回/週)
- 4)介護予防手帳の作成
- ②介護職員等への技術的助言
- →デイサービスに出向き、利用者のADLに応じたリハビリメニュー等への助言
- →デイサービス、訪問介護員向けのロコモ体操の指導
- ③地域ケア会議等でのケアマネジメント支援
- →大河原町では要支援のケアプランはH18から一度も外部委託したことはない。保健師を中心に3職種チームアプローチ、ならびに健康推進課の管理栄養士、歯科衛生士からの直接的な助言があるため介護予防の地域ケア会議は行っていない。(随時直接)
- →地域ケア会議は介護の重度化防止のための自立に向けた地域 ケア会議を開催(要介護1以上)本人宅で本人家族の参加(ケ アマネジャー・事業所担当者・理学療法士・作業療法士・歯科 衛生士・管理栄養士・ケアマネジャー協会(看護師)・生活支 援コーディネーター・行政職員・包括職員

